

令和5年度 第4回市長タウンミーティング概要

と き：令和5年4月16日（日）
午後2時～3時30分
ところ：南公民館
参加者：92人

○市長あいさつ

（市長より、令和5年度の施策・予算についての説明が行われました。）

○意見交換

質問(市民)

補聴器の購入費の補助をお願いしたいです。補聴器は高額ではありますが、認知症の予防にもつながると思いますので、保険適用されるまでの間、ぜひ市で補助をお願いします。

また、南町には銭湯がありませんので、蕨市の福祉入浴券を近くの戸田市の銭湯でも使えるようにしてもらえないでしょうか。

回答(市長)

高齢になると、難聴になるかたも増えてきますが、一人ひとりに合った補聴器を作ろうとすると、とても高額になります。耳が聞こえづらいと、外出して人と会うのを控えるようになり、自宅に閉じこもりがちになるという話も聞いています。健康で幸せに暮らすには、外出し、人と触れ合うことが大切ですし、難聴は認知症発症のリスクにも影響があると言われていきますので、市独自の補助について、ぜひ考えていきたいと思えます。

市外での福祉入浴券の利用については、さまざまな方からご要望をいただき、これまでに塚越地区近くの川口市の銭湯で実現しています。お話の戸田市の銭湯にも蕨市の福祉入浴券を使えるようにこれまでも重ねてお願いをしてきましたが、蕨市と戸田市では補助の方式が違うなかで混乱をきたすということで、なかなか実現に至っていません。しかし、銭湯は体を清潔にするだけでなく、交流の場でもあり、健康で幸せに暮らせるまちづくりの点からも、あきらめずに引き続き取り組んでいきます。

質問(市民)

防災行政無線が聞こえにくいです。また、4年前の台風19号のときには大雨により荒川が溢れそうになりましたが、荒川が決壊したときは私の住んでいるところでは浸水が3メートルになると聞いています。蕨市全体が浸水してしまったときのために、他の自治体への避難を考えておかなければならないのではないのでしょうか。

回答(市長)

防災行政無線については、随時現地を確認し、調整を行うなど、引き続き改善に取り組んでまいります。また、4年前の台風19号のときは、蕨で初めて避難勧告を発令しましたが、私は、国の荒川上流河川事務所と直接やりとりができますので、荒川が氾濫する恐れがある場合、実際に水がくるまでの間にも、迅速に対応をしていきます。市民の皆さんには、昨年改訂した洪水ハザードマップを基に、垂直避難か避難所に避難するかなど、ぜひ事前に確認をお願いします。また、荒川が決壊しないように彩湖・道満グリーンパーク周辺が調節池として整備されており、更にその上流では第二、第三調節池の工事が始まっていて、今まで以上に洪水に耐えられるようになります。広域避難については、近隣で水系の異なる草加市などへの避難に向け検討を始めたほか、災害時における相互応援協定を締結している群馬県片品村や栃木県大田原市とも協議を進めています。

質問(市民)

子どもの遊び場所について、ボール遊びができる公園がなく、危ないからという理由で遊具も減っています。ぜひそういった遊びができる場所を作ってほしいです。

回答(市長)

錦町地区となりますが、区画整理に合わせて、新しく整備する5つの公園と富士見公園の再整備について、町会長さんを始め、地域の皆さんで話し合ってもらい、地区の公園をトータルで見ながら、ボール遊びのできる公園、自然と触れ合える公園というように、それぞれが特色のある公園となるような整備基本構想を策定しました。南町地区は公園数が多いので、将来的に公園のリニューアルに合わせて、地域の皆さんのご理解をいただければ、ボール遊びができる公園などを整備していくことは可能ではないかと考えますので、今後検討していきたいと思っております。

質問(市民)

市役所に死亡に関する手続きを一本化した、おくやみ窓口を開設してもらえないでしょうか。

回答(市長)

身近な方が亡くなられた後のご負担を少しでも軽減できるようにするため、蕨市では事前にご連絡いただければ、必要な申請書類一式を用意し、スムーズに手続きできるようにしておりますが、更にご遺族が行う手続きについて一体的に対応できるおくやみ窓口について、その仕組みづくりを検討してまいります。

質問(市民)

蕨駅西口再開発で図書館が設置されますが、現在の図書館跡地の活用方法について教えてください。

回答(市長)

蕨駅西口再開発後の現図書館の土地や建物の活用については、検討しているところであり、皆様のご意見を聞きながら決めていきたいと思っております。その際、公共施設全体については、維持管理費用の点から総量を抑制していく方針もありますので、総合的に判断してまいります。なお、図書館の分館機能については、場所はまだ決まっていますが南町内に作ることを検討しています。

質問(市民)

蕨が「子育てしやすいまち」から「子育てしたいまち」となるように、地域全体が子どもの遊び場所も含め、子育てについての理解が進むようなまちにしてほしいと思います。

また、私自身も蕨の伝統織物である双子織を使用したブックカバーを作っていますが、双子織、蕨ブランドをもっと市外に発信する方策を考えていただければと思います。

回答(市長)

「子育てしやすいまち」から「子育てしたいまち」とするには、子どもたちのことについて地域全体が理解し、優しい目線で接することが大切だと思っています。例えば公園を整備するときにも、特色ある公園にしようとするれば地域の理

解が必要になってきますので、地域の代表者のかたの参加やご近所の方への丁寧な説明などを通して、地域全体で理解していただけるようなまちづくりを進めていきたいと思ひます。貴重なご意見ありがとうございました。

また、双子織については、市でも様々な形でPRしてきましたが、市外への発信はまだまだ取り組みが必要と思ひています。実は先日、第三期蕨ブランドの認定を機に蕨ブランドなどのPRとして、大宮駅前の「まるまるひがしにほん」というイベントスペースに3月23日から26日まで4日間出店し、駅利用者の方など、市外の多くの皆さんにも注目していただきました。今後も市外に広く、注目してもらえよう、一生懸命努力していきたいと思ひます。

質問(市民)

図書館が駅前に移ってしまうと、南町がさびしくなるので、ぜひ跡地の利用については住民の意見をよく聞いてほしいです。

また、旧三和町の住宅地に3階建てのアパートやマンションが建設されました。蕨のまちづくり指導要綱では、事業主が市と事前協議をしてから事業計画を住民に知らせるようになっていますが、指導要綱を改正して、事業主から事業計画の話が出た時点で住民に知らせる仕組みづくりをお願いします。

そのほか、市民のおよそ20%もの人がマンションに住んでいます。マンション管理適正化推進計画について、以前、私の住んでいるマンション管理組合にも簡単なアンケート調査が届きましたが、管理状況や実態の把握、今後の取り組みのために区分所有者や管理組合に直接意見を聞く場を設けてほしいと思ひます。

回答(市長)

現図書館の場所については、建物をどうするかについても含めて未定です。皆さんの声を聞きながら決めていきたいと思ひますが、公共施設の総量としては抑制していく方針もありますので、総合的に判断していきたいと思ひます。

宅地開発に当たっては、蕨市まちづくり指導要綱で事業主に良好な近隣関係を損なわないように努めるよう規定しており、場合によっては周辺住民の皆さんに説明会を開催したり、個別に説明したりするように指導しています。市と事業者の事前協議前の住民の皆さんへのお知らせについては、ほかの市の事例なども調査しながら、その有効性やまちづくりの在り方も含めて、研究、検討していきたいと思ひます。

また、今年3月に蕨市マンション管理適正化推進計画を策定しましたが、管理状況や実態把握のためのアンケート調査については、多くのマンションから回答が得られるよう、なるべく答えやすい内容としています。マンションの適正な

維持管理の推進には、区分所有者や管理組合の意識向上が不可欠なことから、マンション管理アドバイザーの派遣や有益な情報提供を行うとともに、アンケート調査への回答がなく、管理の実態についても把握が困難なマンションに対しては、現地訪問し、指導、助言を行うなど重点的なフォローを行い、マンションに住んでいる方にとっても、周辺に住んでいる方にとっても良い環境で住めるまちづくりを進めていきます。

質問(市民)

ぷらっとわらびについて、ルート改正前は一台のバスに乗っていると市内一周できましたが、今は蕨駅で乗り換えが必要になり、乗り換えのためにしばらく待たなければならなくなりました。蕨駅西口再開発によって、ロータリーが広くなれば、バスを4台同時に発車できるようにすることで、いろいろなところに行きやすくなるのではないのでしょうか。

回答(市長)

ぷらっとわらびは3年前に3ルートを4ルートに拡充し、ルートについても見直しを行ったところであり、南町の皆さんの声を反映して、市役所に直行できるようにするとともに、駅前通りや河鍋暁斎記念美術館にも行けるようにしました。今のお話しも含め、様々なご意見をいただいておりますが、全てを反映するのは費用や運転手の確保など課題があり、なかなか難しい状況です。今のルートになってまだ3年ですので、しばらくやらせていただいて、また時機を見て見直しを考えていきたいと思っております。

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しています。